

# 日本語教室部会が地域の親子と国際交流を楽しみました

## 日本語で母国の話をした良い経験

後藤京子（日本語教室部会）

日本語教室部会「世界を知ろう」サポートプランは、7月22日（土）市民プラザ大久保で開催された、子育て中のママを応援する市民活動団体「Donna Popolo」（どんなぽぽろ）の主催行事に参加してきました。イベントの内容は、「地域の外国人と触れあい、親子で身近な国際交流を楽しむ」ことを目的としたもので、NIAからは、日本語教室部会の学習者11名とその家族2名の計13名（中国、台湾、フィリピン、ネパール、ブラジル、ペルー）と日本語ボランティア18名が参加しました。一方イベントに参加したどんなぽぽろの親子は、幼児から小学生までの子どもたちが17名と保護者が13名でした。

会場内は、学習者が座る国ごとのコーナーの他に、世界のコインや紙幣の展示、世界の楽器の体験コーナーを設けました。学習者のコーナーは、国の名前と国旗を掲げて、テーブルには学習者が用意したそれぞれの国の写真や挨拶のことばカード、民芸品の数々でとても賑やかな雰囲気が出来上がりました。イベント開始前から子どもたちは楽器を手にとって音を出してみたり、どこの国のお金か調べてみたりと、興味津々の様子です。

主催者の「いろいろな国の人とお話をしてみましょう！」の合図とともに、参加した親子はNIAが用意したサイン集めラリーの用紙を持って学習者のコーナーへ向かいました。



外国のことを知りました



お父さんも一緒



民族衣装はペルー

まずはその国の言葉で挨拶。はじめ緊張していた子どもたちも保護者の方といっしょに挨拶をします。学習者も笑顔で挨拶をして、国の言葉でサインをしたり国旗シールを貼っていきます。イベントのテーマが国際交流ということで、参加した親子は外国のことに興味を持っていて、それぞれの国のことを質問したり、英語を学んでいる小学生は学習者と英語で会話を楽しむ姿もみられました。さらにペルーの学習者が民族衣装を着用して、ペルーの音楽に合わせて踊りを披露してくれました。初めて見る衣装と踊りに参加した親子は大喜びでした。

楽しい雰囲気の中、イベントはあっという間に終了しました。参加した学習者の皆さんにとって、日本語で母国のことを話す良い経験になったと思います。



学習者も「どんなぽぽろ」の皆さんも家族ぐるみで参加